８．特別養護老人ホーム寿楽苑

（１）行動指針

『当たり前からその人らしい生活へ』

①利用者本意の立場で、安らぎある生活を支えます。

②利用者の家族・関係機関との連絡調整を含め、誠意あるサービスの提供に努めます。

③法令を遵守し、堅実で透明性のある施設経営を行います。

④研修、資格取得に積極的に取り組み、専門職としての資質向上に努めます。

（２）事業報告

区分	重点事項	令和元年度取組報告
利用者・家族に対する基本姿勢	人権の尊重	・虐待のチェックとして「自己点検シート」への記入を年２回実施、各自がグレーゾーンについての認識を共有し、その結果については職員会等で報告を行いました。 ・虐待が疑われる事例が発生した際には、全職員対象に臨時内部研修会を実施し、グループワークを行い再発防止に努めました。 ・利用者様の情報は、アセスメントシートでの確認が殆どで、プロフィールシートの活用は出来ませんでした。 ・利用者様の思いをかなえる、ハッピープランの実践については、少人数の方でしたが実施する事が出来ました。
	サービスの質の向上	・顧客満足度調査を実施し、利用者様やご家族の意向を確認する事が出来ました。その結果を踏まえ、指摘事項の改善を行いました。また、調査結果については、ホームページでの公表を行いました。 ・嗜好調査を年２回実施出来ました。 ・計画された老施協等の研修会への参加だけでなく、その他の研修会についても、研修案内を掲示する事で、任意での参加に繋がり、個々のスキルアップが図れました。 ・資格取得状況については、介護福祉士１名、認知症介護実践者養成研修１名でした。
	地域との関係の向上	・地域住民と合同で夜間避難訓練を行いました。 ・３月に実施予定であった、魚成地区での地域防災訓練に参加予定であったが、感染症拡大にて中止となった。 ・ボランティアの方が来苑され、様々な行事等に参加してもらい交流が図れました。（学校関係、地域ボランティアサークル等）
	生活環境・利用環境の向上	・毎月実施している福祉機器の点検結果を踏まえ、修理もしくは買い替え等の必要性の確認が出来ました。 ・ベッドサイド介助バー（３）、車椅子（２）、歩行器（１）、センサーマット（３）の購入を計画的に行い、福祉機器の整備が図れました。 ・５月、11月に、厨房器具点検を実施しました。 ・喫茶コーナーは、面会時に家族の方がくつろげる空間として使って頂いたり、利用者様と職員との食事作りやおやつ作りの場として、そして利用者様の食事の場としても活用出来ました。
社会に対する基本姿勢	地域における公益的な取組	・低所得者に対する介護保険サービスに係る利用者負担額の軽減制度の活用。（利用延べ人数１名） ・新規利用者の方には、負担限度額申請の報告、書類作成援助を行いました。

社会に対する基本姿勢	信頼と協力を得るための情報発信	・広報誌「ひだまり」年３回発行する事が出来ました。 ・苑内外での様子を出来るだけ多く（７～10回/月）ブログにて発信する事が出来ました。 ・苦情の有無に関わらず、ブログと広報誌を通じて、苦情解決結果を公表しました。
福祉人材に対する基本姿勢	人材のマネジメントの推進	・法人理念と基本方針の周知徹底を図るため、ミーティングおよび各委員会にて唱和を行いました。 ・マニュアルの整備に付いては、業務改革委員会にてその都度検討し、繰り返し周知と評価を行いました。今後も継続的に整備を行います。
	人材の確保に向けた取組の強化	・介護への理解、興味を持ってもらえるよう、高校生１名、中学生12名が施設内介護体験に参加。また、野村高校出前講座を２回実施しました。
	人材の定着に向けた取組の強化	・エルダー制度を活用し、新人とエルダーで業務の振り返りを行う事で、双方の育成を図る事が出来ました。 ・成長支援制度において、チーム目標の設定を行い、個別目標を掲げることで、チーム力向上が図れました。 ・毎月の安全点検日に危険個所の洗い出しを行い、労働環境の整備に努めました。（主な取組は以下の通り） ①職員トイレ改修(和式から洋式に変更) ②介護職員の休憩室を男女に区別 ・互助会の様々な行事への参加を促し、職員間の交流を図る事が出来ました。
	人材の育成	・介護福祉士目標80%以上に対し、実績77%。 ・喀痰吸引資格取得者１名。
マネジメントに対する基本姿勢	コンプライアンスの徹底	・マニュアルの見直しについては、まだ十分とは言えないので、今後も継続的に見直しを行います。
	健全な財務規律の確立	・毎月主要コストの検証を行いました。また、定期的にコスト状況を職員へ周知する事で、コスト削減意識の向上を図ることが出来ました。 ・給食費にかかるコスト削減のため、献立やおやつの見直しを行いました。 ・介護保険制度の理解を深め、取得可能な新規加算の取得に向けた検討を行うことが出来ました。

（３）行事報告

月	行　事	研修（ＯＪＴ）	その他
４月	奥伊予太鼓保存会来苑 龍澤寺花祭り参拝（２名） 利用者外出（３件/３名） 通報訓練	新任職員研修：２名 医療行為研修：25名 成長支援チーム上期目標設定ミーティング：25名	日の寄進ボランティア：６名 職員会
５月	西予市老施協合同遠足（８名） 健康診断（利用者・職員） 家族会総会（26家族）	感染症及び食中毒の予防及び蔓延防止・事故発生の防止：23名 苦情対応及び虐待防止：①	「ひだまり」28号発行 来客用トイレ改修工事

６月	梅狩り 避難訓練(火災想定) 利用者外出(１件/２名) 里帰り(２件/２名)	身体拘束廃止：24名 苦情対応及び虐待防止：②～④	日本舞踊ボランティア：２名 野村高校出前講座(職員：３名) 魚成婦人会ボランティア：６名 今田地区道作り参加(職員：５名) 第１回入所検討委員会
７月	居酒屋「楽」(男子会)：11名 苑内そうめん流し 苑内バーベキュー昼食 利用者外出(１件/１名) 参議院議員選挙期日前投票(５名)	RX組介護塾① 褥瘡対策・排泄ケア：23名	つつじ会ボランティア来苑：20名 介護相談員来苑(２名)
８月	寿楽苑夏祭り (24家族/47名)	看取り介護の実践：23名	夏休みチャレンジボランティア(野村高校：１名)
９月	苑内敬老会 100歳表彰(１名) 白寿のお祝い(１名) 城川中学校運動会：２名 喫茶「楽」(女子会)：13名 地域住民合同避難訓練(夜間想定)	食事・嚥下について：23名 成長支援チーム前期目標振返り及び後期目標設定ミーティング：23名	第２回入所検討委員会
10月	西予市老施協演芸大会(12名) 利用者外出(３件/７名) 里帰り(２件/２名)	感染症及び食中毒の予防及びまん延防止：23名	野村高校出前講座(職員：３名) 笑いヨガ：４名 介護相談員来苑(２名) 介護体験(城川中学校：12名)
11月	地方祭(牛鬼、五鹿、神輿来苑) 奥伊予ふるさと祭り：２名 城川中学校文化祭見学：２名 野村乙亥祭り見学：４名 里帰り(２件/３名)	高齢者虐待防止、事故発生防止：24名 RX組介護塾②	「ひだまり」29号発行 インフルエンザ予防接種 (利用者・職員)
12月	家族会奉仕活動(21家族/22名) 臥龍温泉外出：１名 苑内忘年会 利用者外出(１件/２名) 避難訓練(地震想定)	身体拘束排除・褥瘡対策：24名	城川小学校「人権の花受贈」 しろかわ保育所餅つき交流会 宇和島老人クラブみかん慰問 第３回入所検討委員会
１月	初詣外出(２件/５名) 利用者外出(２件/４名) 里帰り(１件/１名) 苑内新年会 防犯訓練	救命講習：21名	「ひだまり」30号発行 シェイクアウトえひめ(独自実施)
２月	ぽっぽ温泉外出：１名 土砂災害想定訓練	RX組介護塾③ 成長支援後期チーム目標振返り：21名	介護相談員来苑(２名)

3月	※新型コロナウイルス感染対策により、行事および研修等を中止。	第４回入所検討委員会 ※感染対策を行い開催。
毎月	運営委員会・介護士会・バイキング・誕生会・各専門委員会（給食、褥瘡対策、感染症対策、危機管理・事故防止対策、身体拘束廃止、虐待対策、サービス向上、衛生管理、食事、排泄、入浴、企画・広報、内部研修）、業務改革委員会 介護マイスター勉強会・高齢者部会介護技術伝達講習会・安全点検	
定期	入所検討委員会（３ヶ月毎）・カンファレンス・エルダー委員会 環境整備（３ヶ月毎）・消火訓練（３ヶ月毎） 内科回診（月・木）・精神科回診（第３火曜日）	
随時	避難訓練・防犯訓練・地域行事外出・交流会・ふるさと訪問・内部研修会 法人研修会・職員会・食中毒対策緊急会議・相談苦情対策委員会	
毎日	朝礼・ミーティング・ストレッチ体操、ハイタッチ運動	

（４）利用者利用状況等

月	利用可能人員	利用者実人数	稼働率	前年度稼働率
4	1,500	1,422	94.8%	93.5%
5	1,550	1,445	93.2%	97.6%
6	1,500	1,370	91.3%	97.9%
7	1,550	1,525	98.4%	96.1%
8	1,550	1,522	98.2%	95.9%
9	1,500	1,436	95.7%	97.9%
10	1,550	1,472	95.0%	98.3%
11	1,500	1,453	96.9%	97.4%
12	1,550	1,524	98.3%	97.4%
1	1,550	1,449	93.5%	96.5%
2	1,450	1,346	92.8%	94.1%
3	1,550	1,509	97.4%	98.0%
合計	18,300	17,473	95.5%	96.7%

利用者要介護度別　　（令和２年３月末現在）

要介護１	要介護２	要介護３	要介護４	要介護５
0	1	9	20	20

平均介護度　　4.2
平均年齢　　85.7歳
男性　18名　　女性　32名

9．短期入所生活介護事業所寿楽苑

（1）行動指針

『当たり前からその人らしい生活へ』

①利用者本意の立場で、安らぎある生活を支えます。

②利用者の家族・関係機関との連絡調整を含め、誠意あるサービスの提供に努めます。

③法令を遵守し、堅実で透明性のある施設経営を行います。

④研修、資格取得に積極的に取り組み、専門職としての資質向上に努めます。

（2）事業報告

区分	重点事項	令和元年度取組報告
利用者家族に対する基本姿勢	人権の尊重	・特養と同様の内容にて実施。 ・個別ファイルにアセスメントシートを保存し、利用時にはいつでも確認出来るようにしました。
	サービスの質の向上	・特養と同様の内容にて実施。 ・居宅ケアマネから提供されるケアプランに沿って、介護および看護が連携し利用者様の心身機能の維持に努めました。 ・利用者の在宅生活の維持を目的とし、家族の意向および利用者様の負担を考慮しながら居宅ケアマネと適宜調整を行い、家族の介護負担軽減に努めました。
	地域との関係の向上	・利用期間中に限定はされるが、ボランティアの方が来苑され、様々な行事等に参加してもらい、交流が図れました。（学校関係、地域ボランティアサークル等）
	生活環境・利用者環境の向上	・特養と同様の内容にて実施。 ・利用時は、在宅での生活環境に近付けた居室環境作りを行い、安心して安全に生活して頂けるよう努めました。 ・入所者様や知人との面会の際には、喫茶コーナーの活用が出来ました。
社会に対する基本姿勢	地域における公益的な取組	・特養と同様の内容にて実施。
	信頼と協力を得るための情報発信	・特養と同様の内容にて実施。
福祉人材に対する基本姿勢	人材のマネジメントの推進	・特養と同様の内容にて実施。
	人材の確保に向けた取組の強化	・特養と同様の内容にて実施。
	人材の定着に向けた取組の強化	・特養と同様の内容にて実施。
	人材の育成	・特養と同様の内容にて実施。
マネジメントに対する基本姿勢	コンプライアンスの徹底	・特養と同様の内容にて実施。
	健全な財務規律の確立	・特養と同様の内容にて実施。

（3）行事報告

月	行　事	研修（ＯＪＴ）	その他
4月	奥伊予太鼓保存会来苑	職員対象の研修等は、特養と同様の内容にて実施。	
5月	健康診断（職員）		
6月	梅狩り 避難訓練(火災想定)		
7月	苑内そうめん流し 苑内バーベキュー昼食		
8月	寿楽苑夏祭り		
9月	苑内敬老会 地域住民合同避難訓練(夜間想定)		
10月			
11月	地方祭(牛鬼、五鹿、御輿来苑)		
12月	苑内忘年会		
1月	防犯訓練		
2月	節分行事		
3月	※新型コロナウイルス感染対策により、行事および研修等を中止。		
毎月	運営委員会・介護士会・バイキング・誕生会・各専門委員会（給食、褥瘡対策、感染症対策、危機管理・事故防止対策、身体拘束廃止、虐待対策、サービス向上、衛生管理、食事、排泄、入浴、企画・広報、内部研修）、業務改革委員会 介護マイスター勉強会・高齢者部会介護技術伝達講習会・安全点検		
定期	エルダー委員会 環境整備（3ヶ月毎）・消火訓練(3ヶ月毎)		
随時	避難訓練・防犯訓練・地域行事外出・交流会・内部研修会 法人研修会・職員会・食中毒対策緊急会議・相談苦情対策委員会		
毎日	朝礼・ミーティング・ストレッチ体操、ハイタッチ運動		

（4）利用者利用状況等

月	利用可能人員	利用者実人数	稼働率	前年度稼働率
4	300	264	88.0%	67.0%
5	310	264	85.2%	81.0%
6	300	273	91.0%	81.7%
7	310	258	83.2%	84.8%
8	310	275	88.7%	85.2%
9	300	260	86.7%	83.7%
10	310	275	88.7%	87.4%
11	300	277	92.3%	82.7%
12	310	235	75.8%	93.9%
1	310	213	68.7%	79.0%
2	290	231	79.7%	82.5%
3	310	246	79.4%	86.8%
合計	3,660	3,071	83.9%	83.0%

利用定員　　10名
平均介護度　　2.23　　（令和２年３月末現在）

10．デイサービスセンター寿楽苑

（1）行動指針

『当たり前からその人らしい生活へ』

①利用者本意の立場で、安らぎある生活を支えます。

②利用者の家族・関係機関との連絡調整を含め、誠意あるサービスの提供に努めます。

③法令を遵守し、堅実で透明性のある施設経営を行います。

④研修、資格取得に積極的に取り組み、専門職としての資質向上に努めます。

（2）事業報告

区分	重点事項	令和元年度取組報告
利用者・家族に対する基本姿勢	人権の尊重	虐待のチェックとして「自己点検シート」への記入を年２回実施、各自がグレーゾーンについての認識を共有し、その結果については職員会等で報告を行いました。 ・利用者様からのニーズを適宜収集し、その旨をケアマネに連絡し、ケアプランに反映し個別へのサービス提供を実施しました。
	サービスの質の向上	・顧客満足度調査を実施し、利用者様やご家族の意向を確認する事が出来ました。その結果を踏まえ、指摘事項の改善を行いました。 ・家族との連携を図り、ニーズの把握に努め、利用者様の個別対応や過ごし方の充実について、適宜職員間で協議し改善に向けた検討を行いました。 ・研修会への参加については、出来るだけ職員の希望を踏まえた上での参加が出来ました。 ・フットケア研修にも全職員で参加し、フットケアの重要性についての理解を深めることが出来ました。 ・他施設見学については、実施する事が出来ませんでした。 ・資格取得状況については、介護支援専門員１名でした。
	地域との関係の向上	・地区の子供神輿や地域の保育所からの来苑があり、利用者様との交流を図る事が出来ました。 ・３月に実施予定であった、魚成地区での地域防災訓練に参加予定であったが、感染症拡大にて中止となった。
	生活環境・利用環境の向上	・次年度のトイレ改修に向け、職員会等において改修案や改修期間中の業務の在り方についての協議を行いました。 ・利用者様の身体状況に合わせた機能訓練を実施し、適宜ご家族にその様子等を報告することで、在宅での生活機能の維持向上に寄与することが出来ました。
社会に対する基本姿勢	地域における公益的な取組	・「地域ケア会議」に参加し、地域福祉ニーズの把握に努めました。 ・入浴サービス利用実績(14回/年) ・お試しデイサービス利用実績(９名/年)
	信頼と協力を得るための情報発信	・広報誌「デイサービスセンター寿楽苑通信」を年３回発行する事が出来ました。 ・苦情受付けの実績はありませんでした。公表については、毎月ブログで行いました。

福祉人材に対する基本姿勢	人材のマネジメントの推進	・法人理念と基本方針の周知徹底を図るため、ミーティングおよび各委員会にて唱和を行いました。 ・業務の標準化および共有化を図るため、マニュアルの整備および改善の検討を適宜行うことが出来ましたが、今後も継続的に整備を行う必要があります。
	人材の確保に向けた取組の強化	・城川中学校生徒の来苑あり。利用者様との交流やデイでの業務について説明を行い、福祉についての理解を深めて頂きました。 ・ボランティアサークルの来苑があり交流を図る事が出来たと共に、参加利用者様には大変喜んでいただきました。
	人材の定着に向けた取組の強化	・エルダー制度を活用し、新任職員１名の育成を実施。 ・互助会の様々な行事への参加を促し、職員間の交流を図りました。 ・毎月の安全点検日および日々の車両点検日において、危険個所の洗い出しを行い、労働環境の整備に努めました。 ・成長支援制度において、チーム目標の設定を行い、個別目標を掲げることで、チーム力向上が図れました。
	人材の育成	・介護福祉士目標80%以上に対し、実績87.5%。 ・認知症の研修に参加し、利用者様の認知機能の観察を行い、維持改善に向けたサービスの提供を行うよう努めることが出来ました。
マネジメントに対する基本姿勢	コンプライアンスの徹底	・マニュアルの見直しについては、まだ十分とは言えないので、今後も継続的に見直しを行います。
	健全な財務規律の確立	・毎月主要コストの検証を行いました。また、定期的にコスト状況を職員へ周知する事で、コスト削減意識の向上を図ることが出来ました。 ・給食費にかかるコスト削減のため、献立やおやつの見直しを行いました。 ・介護保険制度の理解を深め、取得可能な新規加算の取得に向けた検討を行うことが出来ました。

（3）行事報告

月	行　　事	研修（ＯＪＴ）	その他
４月	奥伊予太鼓保存会来苑	苑内新任者研修：１名 医療行為研修：８名 成長支援チーム上期目標設定ミーティング：８名	
５月	健康診断（職員）	感染症及び食中毒の予防及び蔓延防止・事故発生の防止：７名	広報誌(春号)発行
６月	梅狩り 避難訓練(火災想定)	苦情対応及び虐待防止：９名 身体拘束廃止：７名	笑いヨガ：５名 日本舞踊ボランティア：２名
７月	そうめん流し 七夕まつり	褥瘡対策・排泄ケア：８名 フットケアリーダー研修：３名	介護相談員来苑(２名) 地域ケア会議:職員１名
８月		看取り介護の実践：７名 フットケアリーダー研修：３名 フットケア全体研修：９名 フットケア初期評価：２名	

9月	地域住民合同避難訓練 (夜間想定)	食事・嚥下について：７名 成長支援チーム前期目標振返り及び後期目標設定ミーティング：７名 フットケア初期評価：４名 フットケアリーダー研修：３名	
10月		感染症及び食中毒の予防及びまん延防止：６名	広報誌(秋号)発行 介護相談員来苑(２名) 介護体験(城川中学校：12名)
11月	地方祭(牛鬼、五鹿、御輿来苑)	高齢者虐待防止、事故発生防止：８名 フットケア最終評価：６名	インフルエンザ予防接種(職員) 地域ケア会議:職員１名
12月	クリスマス会 避難訓練(地震想定)	身体拘束排除・褥瘡対策：７名 フットケア最終カンファレンス：９名	しろかわ保育所交流会
１月	新年会 防犯訓練	救命講習：７名	広報誌(新年号)発行
２月	節分行事 土砂災害想定訓練	成長支援後期チーム目標振返り：８名	介護相談員来苑(２名)
３月	※新型コロナウイルス感染対策により、行事および研修等を中止。		
毎月	運営委員会・デイ職員会・誕生会・各専門委員会（給食、褥瘡対策、感染症対策、危機管理・事故防止対策、身体拘束廃止、虐待対策、サービス向上、衛生管理、企画・広報、内部研修） 介護マイスター勉強会・高齢者部会介護技術伝達講習会・安全点検		
定期	環境整備（３ヶ月毎）・エルダー委員会		
随時	避難訓練・交流会・内部研修会・法人研修会・合同職員会・相談苦情対策委員会・食中毒対策緊急会議		
毎日	朝礼・終礼		

（4）利用者利用状況等

月	利用可能人員	利用者実人数	稼働率	前年度稼働率
4	650	491	75.5%	68.0%
5	675	544	80.6%	71.0%
6	625	533	85.3%	71.4%
7	675	577	85.5%	74.7%
8	675	512	75.9%	73.3%
9	625	478	76.5%	79.0%
10	675	492	72.9%	84.6%
11	650	449	69.1%	81.5%
12	625	418	66.9%	80.8%
1	625	427	68.3%	63.0%
2	625	435	69.6%	69.3%
3	650	461	70.9%	71.8%
合計	7,775	5,817	74.8%	74.0%

利用定員　　25名

1日平均利用　　17.2人

営業日　　月曜日から土曜日の週6日

介護度状況（令和2年3月末現在）

事業対象者	要支援1	要支援2	介護度1	介護度2	介護度3	介護度4	介護度5
0	12	23	23	18	10	7	2

平均介護度　　2.12　　（要支援・第1号対象者を除く）

11. 養護老人ホーム　奥伊予荘

（1）行動指針

『笑顔で　よりそい　ささえあう』

ア　入所者の意思及び人格を尊重します。

イ　家族との結びつきを大切にします。

ウ　職員は知識及び技術の向上に努めます。

エ　地域貢献に努めます。

オ　信頼される施設を目指します。

（2）事業報告

区　分	重点項目	令和元年度取組報告
利用者・家族に対する基本姿勢	人権の尊重	集団生活を送る中、利用者自身が自己の尊厳・権利について自覚して頂くと共に、健康で安全・安心した生活が送れることを目的とした生活のしおりを作成し、利用者・職員に配布することにより周知を図りました。 支援計画の作成時に自己決定と選択を重視したハッピープランの実現に取り組みました。
	サービスの質の向上	利用者の希望を取り入れ、各ユニットごとに毎月おやつ作りや外出を計画実施しました。また、満足度アンケート実施しました。 開荘時からのナースコールを改修し、迅速な対応への取り組みを行いました。また、大型リフト車の購入により通院の際の車両への乗降りの負担を軽減しました。 施設内研修では、事故防止や危機管理、虐待身体拘束について、消防署や四国電気保安協会、愛媛県ネットワーク協会等の外部講師を招いての研修会も行いました。
	地域との関係の継続	城川小、中学校と花を持参して頂き交流会を実施しました。城川保育所との芋植え・芋ほり交流会を計画しましたが、天候及びインフルエンザ感染症流行の兆し有り中止となりました。 老人会(弥生会)・婦人会・地域行事への参加しました。
	生活環境・利用環境の向上	開荘以来、居室エアコンの取り替え等を行っておらず、老朽化に伴い、２年かけ70居室のうち、46居室のエアコン改修工事を行いました。 事務所前の災害非常時用ストックハウス及び西予市防災倉庫の管理を行い、災害訓練を実施し、備品の確保と迅速な対応方法等の確認をしました。
社会に対する基本姿勢	地域における公益的な取組の推進	福祉避難所整備の充実（非常食を１週間分に増やしました。） 近隣地域との災害協定の締結の向け引き続き、協議中です。 奥伊予のつどいの充実を図り、６回実施し、地域の方が大勢、参加していただきました。
	信頼と協力を得るための情報発信	年３回の広報紙「おくいよだより」を発行し、行事等があった場合、適宜ブログにて発信しました。
福祉人材に関する基本姿勢	人材マネジメントの推進	法人の基本理念・基本方針の周知に取り組み、成長支援制度を継続し、所属グループ及び個人の人材育成に取り組みました。
	人材の確保に向けた取り組み	城川小、中学校のボランティア、福祉体験の受け入れ実施を行いました。
	人材の定着に向けた取り組み	エルダー制度利用し、新任職員の育成を通じてエルダーの成長も促しました。また、内部、外部研修を計画的に取り組み、知識、技能、接遇の向上にも努めました。

	人材の育成	毎月の委員会や職員会、研修会において介護・支援実践基礎、各制度、法令等の研修や討議を実施、喀痰吸引研修では、２名が修了書取得しました。
マネジメントに対する基本姿勢	コンプライアンスの徹底	朝礼や、会議等で法令遵守の周知を図りました。
	健全な財務規律の確立	デマンド監視装置の対応周知し、半期ごとに電気代等の経費を算出し、職員へ掲示することにより節電、節水のコスト削減に努めました。

（３）行事報告

月	行　事	研修（ＯＪＴ）	その他
４月	お花見 奥伊予太鼓来荘 五月人形（飾り付け） お楽しみ外出・ふるさと訪問	新年度事業計画と施設方針 新任職員研修 施設設備機器扱い	福寿会役員会 成長支援目標設定
５月	西予老施協合同遠足 健康診断　お楽しみ外出 奥伊予のつどい	事故再発防止 リスクマネジメント 脱水・食中毒	福寿会役員会 広報誌発行①
６月	家族会 JA年金友の会 奥伊予のつどい ほたる狩り 保育所交流・芋苗植え	感染予防 介護技術	家族会総会 福寿会役員会 (風水・土砂災害)避難訓練 出前講座(野村高) 草刈り
７月	七夕飾り そうめん流し 奥伊予のつどい お楽しみ外出	介護技術 （医療器具扱い等） ＡＥＤ研修・心肺蘇生他	（昼）火災避難訓練 福寿会役員会
８月	納涼祭 盆法要 お楽しみ外出	非常災害時の対応 介護技術	草刈り 福寿会役員会
９月	敬老の式典 奥伊予のつどい お楽しみ外出	身体拘束適正化、虐待防止 医療行為・転倒、骨折 介護技術	福寿会役員会 広報誌発行②
10月	地域交流大運動会 奥伊予のつどい 保育所交流・芋ほり 城川中学校文化祭 お楽しみ外出	感染症予防 介護技術	（夜）火災避難訓練 草刈り 出前講座(野村高) 福寿会役員会
11月	健康診断（夜勤者採血） 奥伊予ふるさと祭 伊予のつどい　お楽しみ外出	介護技術（パット・排泄） 認知症ケア	福寿会役員会
12月	西予市老施協合同避難訓練 クリスマス 忘年会・餅つき お楽しみ外出	介護技術	(地震)避難訓練 福寿会役員会

1月	初詣 新年会 お楽しみ外出	医療行為、医療機器取扱 虐待防止、身体拘束適正化 事故再発防止	福寿会役員会 広報誌発行③
2月	節分 お楽しみ外出	介護技術	福寿会役員会
3月	ひな祭り（飾り付け） 春彼岸法要 お楽しみ外出 退職異動者お別れ会	介護伝達講習会	福寿会役員会・総会 防犯訓練
毎月	運営委員会・職員会・給食委員会・各ユニット会・処遇委員会・企画委員会 各専門委員会（事故再発防止、身体拘束廃止・医療的ケア、虐待防止対策 感染症対策～３ヶ月1回研修、内部研修） 誕生会・ボーリング大会・フジマート販売・ユニット食・ホール喫茶		
定期	カンファレンス、エルダー委員会、防災対策委員会、苦情解決委員会 内科回診（月２回）、散髪～月２回、ユニット消毒～週２回		
随時	避難訓練・地域行事外出・交流会・お楽しみ外出・クラブ・法人研修会		
毎日	体操、機能訓練（平日）		

（4）養護老人ホーム入所者（40人）利用状況等

月	入所可能人員	入所者実人数	稼働率	前年度稼働率
4	1,200	1,132	94.3%	—
5	1,240	1,160	93.5%	—
6	1,200	1,161	96.8%	—
7	1,240	1,199	96.7%	—
8	1,240	1,144	92.3%	—
9	1,200	1,073	89.4%	—
10	1,240	1,179	95.1%	—
11	1,200	1,140	95.0%	—
12	1,240	1,209	97.5%	—
1	1,240	1,157	93.3%	—
2	1,160	1,131	97.5%	—
3	1,240	1,207	97.3%	—
合計	14,640	13,892	94.9%	—

入所者要介護度別　　（R２年３月末現在）

自立	要支援１	要支援２	要介護１	要介護２	要介護３	要介護４	要介護５
27	0	3	5	2	1	1	1

男性　13名　　女性　27名　　入所者総数　40名

平均年齢　84.5歳

措置機関別入所状況　　西予市　39名　　宇和島市　1

（５）奥伊予荘全体入所者（70人）利用状況等

月	入所可能人員	入所者実人数	稼働率	前年度稼働率
4	2,100	2,023	96.3%	89.2%
5	2,170	2,073	95.5%	91.3%
6	2,100	1,975	94.0%	93.2%
7	2,170	2,066	95.2%	97.0%
8	2,170	2,052	94.6%	98.7%
9	2,100	1,927	91.8%	97.4%
10	2,170	2,045	94.2%	95.4%
11	2,100	2,035	96.9%	93.9%
12	2,170	2,085	96.1%	96.0%
1	2,170	2,023	93.2%	94.8%
2	2,030	1,998	98.4%	95.3%
3	2,170	2,137	98.5%	96.7%
合計	25,620	24,439	95.4%	93.6%

入所者要介護度別　　（R２年３月末現在）

自立	要支援１	要支援２	要介護１	要介護２	要介護３	要介護４	要介護５
27	0	3	11	14	7	4	4

男性　24名　　女性　46名　　入所者総数　70名

平均年齢　87.0歳

措置機関別入所状況　　西予市　67名　　宇和島市　２名

大洲市　１名

12．特定施設入居者生活介護事業所奥伊予荘

（1）行動指針

『笑顔で　よりそい　ささえあう』

ア　入所者の意思及び人格を尊重します。

イ　家族との結びつきを大切にします。

ウ　職員は知識及び技術の向上に努めます。

エ　地域貢献に努めます。

オ　信頼される施設を目指します。

（2）事業報告

区　分	重点項目	令和元年度取組報告
利用者・家族に対する基本姿勢	人権の尊重	集団生活を送る中、利用者自身が自己の尊厳・権利について自覚して頂くと共に、健康で安全・安心した生活が送れることを目的とした生活のしおりを作成し、利用者・職員に配布することにより周知を図りました。 特定施設開設後の利用者・ご家族への説明を家族会行事等で行いました。 ケアプラン・支援計画の作成時に自己決定と選択を重視したハッピープランの実現に取り組みました。
	サービスの質の向上	利用者の希望を取り入れ、各ユニットごとに毎月おやつ作りや外出を計画実施しました。また、満足度アンケート実施しました。 開荘時からのナースコールを改修し、迅速な対応への取り組みを行いました。また、大型リフト車の購入により通院の際の車両への乗降りの負担を軽減しました。 施設内研修では、事故防止や危機管理、虐待身体拘束について、消防署や四国電気保安協会、愛媛県ネットワーク協会等の外部講師を招いての研修会も行いました。
	地域との関係の継続	城川小、中学校と花を持参して頂き交流会を実施しました。城川保育所との芋植え・芋ほり交流会を計画しましたが、天候及びインフルエンザ感染症流行の兆し有り中止となりました。 老人会(弥生会)・婦人会・地域行事への参加しました。
	生活環境・利用環境の向上	開荘以来、居室エアコンの取り替え等を行っておらず、老朽化に伴い、２年かけ70居室のうち、46居室のエアコン改修工事を行いました。 特定施設入居者生活介護事業所移行に伴い、備品（車椅子、自立支援テーブル、３モーターベッド、平行棒等）を整備しました。 事務所前の災害非常時用ストックハウス及び西予市防災倉庫の管理を行い、災害訓練を実施し、備品の確保と迅速な対応方法等の確認をしました。
社会に対する基本姿勢	地域における公益的な取組	福祉避難所整備の充実（非常食を１週間分に増やしました。） 近隣地域との災害協定の締結の向け引き続き、協議中です。 奥伊予のつどいの充実を図り、６回実施し、地域の方が大勢、参加していただきました。

	信頼と協力を得るための情報発信	年３回の広報紙「おくいよだより」を発行し、行事等があった場合、適宜ブログにて発信しました。
福祉人材に関する基本姿勢	人材マネジメントの推進	法人の基本理念・基本方針の周知に取り組み、成長支援制度を継続し、所属グループ及び個人の人材育成に取り組みました。
	人材の確保に向けた取り組み	城川小、中学校のボランティア、福祉体験の受け入れ実施を行いました。
	人材の定着に向けた取り組み	エルダー制度利用し、新任職員の育成を通じてエルダーの成長も促しました。また、内部、外部研修を計画的に取り組み、知識、技能、接遇の向上にも努めました。
	人材の育成	毎月の委員会や職員会、研修会において介護・支援実践基礎、各制度、法令等の研修や討議を実施、喀痰吸引研修では、２名が修了書取得しました。
マネジメントに対する基本姿勢	コンプライアンスの徹底	朝礼や、会議等で法令遵守の周知を図りました。
	健全な財務規律の確立	デマンド監視装置の対応周知し、半期ごとに電気代等の経費を算出し、職員へ掲示することにより節電、節水のコスト削減に努めました。 H31年４月１日より特定施設入居者生活介護事業所の事業（定員30人）を開始し、経営の安定が図れるよう行政と確認、協議しながら運営しました。（夜間看護体制加算、サービス提供体制強化加算、介護職員処遇改善加算、介護職員等特定処遇改善加算等）

（３）行事報告

月	行　事	研修（ＯＪＴ）	そ　の　他
４月	お花見 奥伊予太鼓来荘 五月人形（飾り付け） お楽しみ外出・ ふるさと訪問	新年度事業計画と施設方針 新任職員研修 施設設備機器扱い	福寿会役員会 成長支援目標設定
５月	西予老施協合同遠足 健康診断 奥伊予のつどい お楽しみ外出	事故再発防止 リスクマネジメント 脱水・食中毒	福寿会役員会 広報誌発行①
６月	家族会 JA年金友の会 奥伊予のつどい ほたる狩り 保育所交流・芋苗植え	感染予防 介護技術	家族会総会 福寿会役員会 (風水・土砂災害)避難訓練 出前講座(野村高) 草刈り
７月	七夕飾り そうめん流し 奥伊予のつどい お楽しみ外出	介護技術 （医療器具扱い等） ＡＥＤ研修・心肺蘇生他	（昼）火災避難訓練 福寿会役員会
８月	納涼祭 盆法要 お楽しみ外出	非常災害時の対応 介護技術	草刈り 福寿会役員会

9月	敬老の式典 奥伊予のつどい お楽しみ外出	身体拘束適正化、虐待防止 医療行為・転倒、骨折 介護技術	福寿会役員会 広報誌発行②
10月	地域交流大運動会 奥伊予のつどい 保育所交流・芋ほり 城川中学校文化祭 お楽しみ外出	感染症予防 介護技術	（夜）火災避難訓練 草刈り 出前講座(野村高) 福寿会役員会
11月	健康診断（夜勤者採血） 奥伊予ふるさと祭 伊予のつどい お楽しみ外出	介護技術（パット・排泄） 認知症ケア	福寿会役員会
12月	西予市老施協合同避難訓練 クリスマス 忘年会・餅つき お楽しみ外出	介護技術	(地震)避難訓練 福寿会役員会
1月	初詣 新年会 お楽しみ外出	医療行為、医療機器取扱 虐待防止、身体拘束適正化 事故再発防止	福寿会役員会 広報誌発行③
2月	節分 お楽しみ外出	介護技術	福寿会役員会
3月	ひな祭り（飾り付け） 春彼岸法要 お楽しみ外出 退職異動者お別れ会	介護伝達講習会	福寿会役員会・総会 防犯訓練
毎月	運営委員会・職員会・給食委員会・各ユニット会・処遇委員会・企画委員会 各専門委員会（事故再発防止、身体拘束廃止・医療的ケア、虐待防止対策 感染症対策～３ヶ月1回研修、内部研修) 誕生会・ボーリング大会・フジマート販売・ユニット食・ホール喫茶		
定期	カンファレンス、エルダー委員会、防災対策委員会、苦情解決委員会 内科回診（月２回）、散髪～月２回、ユニット消毒～週２回		
随時	避難訓練・地域行事外出・交流会・お楽しみ外出・クラブ・法人研修会		
毎日	体操、機能訓練（平日）		

（4）特定施設生活介護事業所（30人）入所者利用状況等

月	入所可能人員	入所者実人数	稼働率	前年度稼働率
4	900	891	99.0%	—
5	930	913	98.2%	—
6	900	814	90.4%	—
7	930	867	93.2%	—
8	930	908	97.6%	—
9	900	854	94.9%	—
10	930	866	93.1%	—
11	900	895	99.4%	—
12	930	876	94.2%	—
1	930	866	93.1%	—
2	870	867	99.7%	—
3	930	930	100.0%	—
合計	10,980	10,547	96.1%	—

入所者要介護度別　　（R２年３月末現在）

自立	要支援１	要支援２	要介護１	要介護２	要介護３	要介護４	要介護５
0	0	0	6	12	6	3	3

男性　11名　　女性　19名　　入所者総数　30名

平均年齢　87.9歳

措置機関別入所状況　　西予市　28名　　宇和島市　１名

大洲市　１名

XIV　その他の公益事業

1．修学支援事業

1-1　奨学金事業

（1）行動指針

将来、社会福祉法人西予市野城総合福祉協会に就職を希望する者を対象に、修学資金を貸与して養成事業等の修学に資することにより、事業継続のための人材確保を図り、地域福祉の増進と充実に貢献し、有為な人材を育成していきます。

○具体的取り組み

月	実　施　報　告	
4	ＨＰ掲載　奨学金交付	奨学金貸付３名
5	南予地域の高等学校へパンフレット送付	奨学金貸付３名・奨学金返済１名
6	法人広報誌掲載、　リクルート活動	奨学金貸付３名・奨学金返済１名
7	リクルート活動　奨学金交付	奨学金貸付３名・奨学金返済１名
8	リクルート活動	奨学金貸付３名・奨学金返済１名
9	法人広報誌掲載、　リクルート活動	奨学金貸付３名・奨学金返済１名
10	リクルート活動	奨学金貸付３名・奨学金返済１名
11	南予地域の高等学校へパンフレット送付	奨学金貸付３名・奨学金返済１名
12		奨学金貸付３名・奨学金返済１名
1		奨学金貸付３名・奨学金返済１名
2		奨学金貸付３名・奨学金返済１名
3		奨学金貸付３名・奨学金返済１名

○実施状況

令和元年度、新たな奨学生の確保はできませんでした。奨学金貸付者は３名、奨学金返済者が１名となっています。３名の奨学生の内１名が令和元年度卒業し、当法人の採用試験を受けて、令和２年度作業療法士として野村育成園で就労することになりました。

制度の周知を図り、学生の修学支援と法人の人材確保に努めます。

1－2　就職準備貸付金事業

（1）行動指針

社会福祉法人西予市野城総合福祉協会に就職が内定した学生に対し、就職のための準備金を貸し付けることで福祉人材の確保に繋げ、事業の継続を図り、地域福祉の増進と充実に貢献していきます。

○具体的取り組み

月	実　施　報　告	
12	就職準備貸付金規程制定	就職準備貸付金の借受人３名
1		
2		
3		

○実施状況

当法人に就職が内定した３名の高校生に、就職のための準備金を１名につき３０万円の貸付を行いました。 就職に必要な転居費用、被服費、通勤用自転車等の費用、として利用することができました。

就職に関する様々な不安要素を少しでも軽減することができ、借受人及び保護者から当法人に対して親しみと安心感を持つことが出来たといった感想を聞くことが出来ました。

学校の就職担当者からは、就職準備貸付金事業について、学生に是非紹介をしたいとの声もあり、人材確保に繋がるのではないかと期待をしています。

１－３　看護師資格取得に関する奨学金事業

（１）行動指針

社会福祉法人西予市野城総合福祉協会の職員に看護師資格取得に関する奨学金を貸付し、看護師の人材確保に繋げ、事業の継続を図り、地域福祉の増進と充実に貢献していきます。

○具体的取り組み

月	実　施　報　告
12	看護師資格取得に関する奨学金事業規程
1	職員周知
2	職員周知
3	職員周知

令和元年12月に規則を制定し、職員に周知を図りましたが、申込者はありませんでした。資金の支援は利用できるものの、看護師資格を取るために休職して挑戦するという意思決定をするのには、生活設計を見直す必要があります。

キャリアアップすることが出来る制度を整備することは、職員の選択肢を広げるという意味で大切です。今後も周知し、奨学金の利用に繋げていきます。

２．法人後見事業

（１）行動指針

認知症高齢者、知的障害者、精神障害者など意思決定が困難な人を、法律的に保護し、支えます。法人の持つ専門性やネットワークを最大限に活かしながら、地域福祉の推進の一端を担い、法人の理念や基本方針の実現を目指します。

○実施状況

令和元度の受審件数は、０件でした。

本人の権利を守る援助者（「成年後見人」等）を選ぶことで、本人を法律的に支援する制度について、行政や西予市内の５社会福祉法人と連携し西予市としての取り組みについて情報の共有と、今後の在り方について協議していきます。